

2018年度 中学1年 年間学習指導計画表

1組担任：中村 菊子 2組担任：鈴木貴登

中学部の4つの方針：

1. 学習者主体型の、生徒が主体的に学習に取り組めるような学習環境を整える。
2. 場面に応じた日本語を使い、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。
3. グループディスカッションができるようにする。
4. 生活基本漢字 381字の定着を目指す。

学期	テーマ	単元	学習内容
1	中学部の学習の基本 家族 おいたち 友達1	オリエンテーション 話し言葉と書き言葉 p.65 言葉の単位：言葉のまとまりを考えよう p.78 漢字の組み立てと部首 p.41 「私と家族」に関する読み物 「赤ちゃんが 生まれたよ」 友情に関するビデオ 「友情のメダル」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学部の学習の基本の「4つのルーティーン」について再確認をする。</li> <li>• 話し言葉と書き言葉の違いについて考える。</li> <li>• 文、文節、単語といった言葉の単位を意識する。また、練習問題を通してそれぞれの性質を理解する。</li> <li>• イラストや例を基にして、漢字の4つのパターンを理解する。</li> <li>• 私と家族について書かれている内容の文化的背景を理解し、習慣や価値観の違いを知る。</li> <li>• 自分の名前の由来を調べる。</li> <li>• 「私の自伝」を書いて、自分と家族のつながりについて考える。</li> <li>• 他人に対する敬意について考え、自分の意見を述べる。</li> </ul>
2	未来がよりよくある ために 私の町 友達2	指示する語句と接続する語句 p.135 文の組み立て：言葉の関係を考えよう p.188 新しい視点へ「ちょっと立ち止まって」 P.49 調べたことを報告しよう P.128 私の町の紹介 「空を見上げて」 P.73 「時をこえた絆」の読み物（ビデオ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 指示する語句の働きを理解する。指示する語句にはそれが指し示す内容があることを理解し、練習問題をしながら確認する。</li> <li>• 正しく伝えるためには、文節どうし（主語と述語）の関係を捉えることが大切であることを学ぶ。</li> <li>• 段落同士の関係に着目し、文章校正を理解する。</li> <li>• 自分の物の見方や考え方を広げる。</li> <li>• レポートの形式に沿ってまとめる方法を知る。</li> <li>• 自分の住む町、シドニーについて様々な観点の特徴を調べ、照会文を書く。</li> <li>• 時を超え、国を超えた絆について考え、自分の意見をもつことができる。</li> </ul>

3	<p>年中行事 プロジェクト「本読みサンタ」</p>	<p>さまざまな表現技法 p.219 「言葉を集めようーもっと『伝わる』表現をめざして」 P.72 「お正月」と「おせち料理」に関する読み物 ストーリー作文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「言葉の並べ方の工夫」を読み、それぞれの表現技法がどのようなリズムの違いや効果を生み出しているか考える。また、「比喩（たとえ）」を読み、それぞれの比喩によってどのような印象が生み出されているか考える。</li> <li>• 観点を立てて言葉を集める練習をする。</li> <li>• 比喩や擬音語・擬態語や観点をたてて集めた言葉を使い、自分の家での年中行事で食べる食べ物について紹介文を300字程度書き、クラスで紹介し合う。(私の家のクリスマス・お正月料理)</li> <li>• 様々な表現技法を使って、ストーリー作文を書き、グループで読みあい、助言しあう。それを「本読みサンタ」の時に小学校1年生にプレゼントする。</li> <li>• 「本読みサンタ」のために小学1年生の好きな本/ゲーム等を調査し、データを集める。集めたデータを整理し、小学1年生が喜ぶ本や紙芝居を選び、小学1年生に読み聞かせができるように練習する。</li> <li>• 中学2年生と協力して、本読みサンタのプロジェクトに積極的に参加する。</li> </ul>
4	<p>学校生活</p>	<p>単語の分類：単語の性質を見つけよう p.229 印象深く思い出を伝えよう（小学校6年生へのメッセージ） p.224</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単語の性質の違いに気づき、単語を分類する観点があることを理解する。</li> <li>• 自立語、付属語、活用の有無などに気づき、品詞についての基本的な概念を持つ。</li> <li>• 土曜校の中1の学校生活を題材に、グループで来年度の新入生へメッセージを作る。</li> </ul>

• 授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。